

## ◇子ども図書研究室の利用について◇

7月4日から当館が臨時休館し、利用される皆さまに多大なご不便をおかけしていることを、心よりお詫び申し上げます。

8月1日からの一部サービス再開に伴い、子ども図書研究室は、研究室内資料の閲覧・貸出、協力貸出など、主なサービスを再開しました。詳しくは当館Webサイト内子ども図書研究室のページをご覧ください。

子ども図書研究室

Webページ



## で き ご と

平成29年6月27日(火)に、当館講堂で子ども図書研究室講演会を開催しました。絵本の翻訳や執筆を手掛ける松井るり子氏をお迎えし『人を育てる「言葉」』という演題でお話しいただきました。(2ページ目にて、概要を紹介します。)

子ども図書研究室では、平成15年度以降に

発行された児童書を、コミック、参考書などを除き、ほぼすべて受入しています。受入した資料は担当職員が目を通して選書を行い、貸出用として複本購入するものを決めていきます。今年度からそれらの資料について、当館Webページにてリスト公開をはじめました。(3ページ目にて概要を紹介します。)

## ◇イベント情報1◇

### ◆新刊サロンのご案内※年度当初予定通り開催します。

日時：10月11日(水)、12月9日(土)、2月14日(水) いずれも午前10時30分～12時  
会場：県立中央図書館 子ども図書研究室

対象：児童書に関心のある15歳以上の方ならどなたでも(中学生を除く)

### ◆平成29年度の新刊児童図書巡回展示のご案内

日時・会場：11月22日(水)・沼津市立図書館4階 第1・第2講座室  
11月29日(水)・静岡県立中央図書館3階 会議室

内容：両会場では約1,000冊の児童書を手に取ってご覧いただくことができます。

対象：県内市町立図書館(含公民館図書室)職員及び小・中学校図書館関係職員のうち、現在児童図書の選書に実際に携わっている方

問合せ：県立中央図書館 TEL：054-262-1246 FAX：054-264-4268

## ◇イベント情報2◇

### ◆平成29年度第25回静岡県図書館大会

会場：静岡県コンベンションアーツセンター  
グランシップ

日時：平成29年11月6日(月)  
9：45～15：45

申込：申込用紙(県立中央図書館ホームページからプリントアウト・県内公共図書館で配布)に記入の上、来館、郵送またはFAX

宛先：静岡県立中央図書館 企画振興課振興班  
〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-1

FAX：054-264-4268

締切：平成29年10月5日(木)

※第3分科会は10月19日(木)まで

### ◆子どもの本に関する分科会

13：45～15：45

◇第2分科会 幼児・児童に対するサービス  
(定員250人)

テーマ：「昔話絵本の選びかた～昔話の文法に沿って～」

講師：小澤俊夫氏(小澤昔ばなし研究所所長)

◇第5分科会 学校図書館

(定員80人)

テーマ：「傷んだ本の修理講座 ～図書修理に関する基礎知識と基礎修理技術を学ぶ～」

講師：上田佳子氏(横浜市立都筑図書館司書)

## 平成 29 年度 子ども図書研究室講演会

今年度は絵本の翻訳や各地で絵本を事例とした子どもに関する講演を行う文筆家・松井るり子氏を講師にお招きしました。「人を育てる『言葉』」と題した講演会でお話しいただいたことを報告します。



学生時代に読んだ倉橋惣三の『育ての心』（フレーベル館）を育児中に改めて読み直したが、幼児教育の要諦について「一語に尽くすものがあれば、それは親切である」とあった。子どもがいま必要としていることを見極め、必要な分だけ手助けをする。一拍子抜けるほどシンプルなことだが、とても大切。また、家庭教育の要諦については「こどもの相手をしてやることである」とあった。これもまたシンプルだが、おざなりになりがちである。

以前、電車内でスマホに夢中になっている母親を退屈した子どもがつねり、母親に怒られる場面を目にしたが、今は子どもにもスマホを与えて静かになっている。騒がしくはないが、果たしてそれで良いのだろうか。プロの保育士は子どもといる時にスマホを触るようなことはしない。自分の子どもだからといって勝手にしていいはずはない。お箸や鉛筆の持ち方などは後で取り返しがつくが、他の誰とでも取り替えがきくようなことしかしていないと、子どもの「その人でないと駄目」という誰かへの愛着が育たないのでは。実はこれはとてもおそろしいことではないかと心配している。



ご自身の育児体験も含め、とても穏やかな口調でしたが、鋭い言葉にどきりとさせられるお話でした。この他、講演ではたくさんの絵本を紹介されました。松井氏の感性で語られることで、見過ごしてしまいそうな絵本の中の素敵な大人の姿や言葉を発見し、改めてその魅力に気づくことができました。一部紹介します。

『マットくんのトラックトラック』  
(ピーター・シスノサク BL 出版)

出かけるからお母さんに言われ、おもちゃを片付けるマットくん。今していることを途中でやめるのは嫌なものだが、それでも片付けるのは、お母さんは自分にとって悪い事は言わないという信頼感があるから。料理も道具を片付けた方が後でやりやすいように、おもちゃも片付いているほうが後で遊びやすい。それを標語では教えない。おでかけは気が進まなかったかもしれないが、お母さんはマットくんが好きな車がたくさんある場所に寄り道をしてくれた。おでかけっていいよね、と言葉ではなくマットくんに体験をさせる。言葉は少ないが、マットくんが求めているものをちゃんと知っているお母さんの姿がある。

『ピッツアぼうや』

(ウィリアム・スタイグノサク セーラー出版)

機嫌が悪くなった時、大人は自分で機嫌を立て直すことができるが、子どもはまだできない。そこで、大人はどうやって機嫌をなおす方法があるか具体的に教えてやる。子どもに媚びたり不要なことを先回りしてやる必要はない。この本のように大人が子どもの相手をしてやる・親切にすることによって、機嫌を立て直すことを手伝う姿は、育児の態度としても見習える。



終了後のアンケートでは「言葉がいかに大切か、少しわかった様な気がします。物事のとりえ方をどうすれば良いか、ヒントを与えられた様な気がします」「絵本の中の言葉に子育てのヒントがいっぱいかくれていたことに気づかせていただきました」などの声が寄せられました。

### 所蔵資料から

#### 知識

『倉橋惣三選集』(全4巻) 倉橋惣三ノ著 フレーベル館 1988年

大正・昭和期の幼児教育家、倉橋惣三の著作集。講師が紹介された『育ての心』は第3巻に収録されている。(安田)

## 児童資料の選定リスト公開をはじめました

子ども図書研究室では、平成 15 年度以降に発行された児童書については、コミック、参考書などを除き、ほぼ収集しています。研究室で受け入れている資料は 1 年で約 4 千冊。これらの資料は担当職員数名で目を通して選書をしています。選定した本は貸出用として複本を購入し、絵本はグランシップ県立図書館コーナー「えほんのひろば」に、知識の本と物語は子ども図書研究室に排架しています。当館の選定基準は以下のとおりです。

### 静岡県立中央図書館 児童資料選定基準

1. 対象は乳幼児から中学生までとする。ただし、15 歳から 18 歳未満対象の資料についても配慮する。
2. 乳幼児および児童生徒のそれぞれの理解力にふさわしい内容の資料を選定する。
3. 内容が正確で、客観的な視点から書かれた資料を選定する。
4. 絵・ストーリー等の内容の完成度が高い資料を選定する。
5. 新しい知識、知見や研究動向を紹介した資料、各種のデータが最新で、出典が明記された資料を選定する。
6. 観察、見学、実験、実習、創作、実演の記述を含む資料は、児童生徒に実行可能な、また安全性に問題がないものを選定する。
7. 正確で美しい日本語で書かれた資料を選定する。
8. 改訂版、増補版に留意する。
9. その他、児童にふさわしいと思われる資料を選定する。

平成 29 年度より、当館 Web ページにて子ども図書研究室で受入した資料のうち、選定した資料のリスト公開をはじめました。リストでは、書名、著者、出版社、出版年月、当館の請

求記号、対象年齢を載せています。研究室の役割には「子どもと本をつなぐ大人のためのサービス」があります。リストは皆さんの日々の選書の参考にしていただけるのではと考えています。

また、研究室では子どもの本の新刊を囲んで職員が本の紹介をしたり参加者の皆さんとお話ししたりする「新刊サロン」を開催しています。子どもの本やそれを取り巻く状況についてお話しできる良い機会になっていますが、当館まで足を運ばなければならないこと、5 回のうち 4 回が平日開催なこともあり、ご興味があっても参加できないという声も伺っていました。新刊サロンでは、リストに掲載した本の内容や掲載までは至らなかった本、全体の傾向などもお話ししていますので、今回のリスト公開がその代わりになるというわけにはいきませんが、リストを公開することで新刊サロン以外の場で私たちの選んだ本をお伝えできるようになりました。

公立図書館や学校図書館、文庫などの地域性や利用者、本を手渡したい子どもによって、相応しい本は変わります。ですから、このリストをそのまま皆さんの活動されている場で活用するという事は難しいでしょう。出版された時点での私たちの評価ですから、何年か後には情報が古くなることや、同じ分野でもさらに良い本が出版されることも予想されます。リストには載っていないでもその図書館には必要な本もあるでしょうし、その逆もあるはずで、それぞれの蔵書構成や状況に応じて、リストは参考としてご活用ください。紹介した本は、是非皆さんも実際に読んでみてから判断してください。

研究室では、子どもと本をつなぐ活動をされている皆さんに役立つようなサービスをさらにしていきたいと考えています。研究室の資料や選定リストがこんな時に役立った、さらにこんなサービスがあると良いなど、ぜひ教えてください。（眞子）

知識



『森のなかの  
オランウータン学園』  
スージー・エスターハス  
／文と写真  
海都 洋子／訳  
六耀社  
2017年3月

森林破壊や密猟などでお母さんを失い、孤児になった赤ちゃんオランウータンの保護施設を紹介した本。ボルネオ島にあるこの施設で、訓練を受けたスタッフが赤ちゃんの世話をし、野生に戻り生きる方法を、森を教室にして教えている。森の学校では、木登りの仕方や食べられる実のことなどを教えており、赤ちゃん同士で遊ぶことも。オランウータンを森へ戻すとき、スタッフは安全に暮らせる森を選び、その後の生活が安定するまで見守る。著者は野生動物写真家。写真に収められたオランウータンの生き生きとした表情が魅力的。【小学校高学年から】(仲本)

文学



『100時間の夜』  
アンナ・ウォルツ／作  
野坂 悦子／訳  
フレーベル館  
2017年3月

父親の不祥事をきっかけにオランダからニューヨークに家出した14歳のエミリア。しかし借りるはずだった部屋は実在せず、数日後にはハリケーンが上陸することがわかる。そこで知り合ったセスとアビーの兄妹、ジムの4人でハリケーンと一緒に過ごすことに。ハリケーン上陸後に大停電になった町は、暖かで清潔な生活だけでなく親やインターネットからもエミリアたちを切り離すが、彼らに自分自身や家族と向き合い、一歩を踏み出す力を与える。オランダの若手作家が描く。【中学生から】(眞子)

文学



『たんけんクラブ  
シークレット・スリー』  
シルドレッド・マリック／ぶん  
アールト・ローベル／え  
小宮 由／やく  
大日本図書  
2017年3月

ある日、ピリーとマークは砂浜で瓶に入った暗号文を発見する。それは灯台のある島に住んでいるトムからのもので、「この暗号を読めたやつと探検クラブをつくりたい」と書かれていた。喜んだ二人は自分たちも暗号を作り、手紙の交換が始まる。やがて二人はトムと出会い、探検クラブ「シークレット・スリー」を結成する。少年たちの暗号文でのやりとりは、読み手も一緒になって楽しむことができるだろう。作者は1963年に本書でデビューした。【小学校低学年から】(安田)

絵本



『イードのおくりもの』  
ファウズィ・ギラニ・ウリアムス／文  
プロイティ・ロイ／絵  
前田 君江／訳  
光村教育図書  
2017年4月

ラマダン月が明けるお祝いのお祭り「イード」のために、くつやのイスマトは妻と娘と母親に贈りものを買った。自分にも新しいズボンを買ったが指4本分だけ丈を詰める必要が。3人に贈りものをして裾直しを頼むが、忙しいからと断られてしまう。しかたなく自分で直したイスマトだが、思い直した3人は、それぞれ指4本分丈を詰めてしまい…。思い合っていたことから起きた小さな騒動は、最後にはあたたかくまとまる。原書はトルコ民話をもとにインドで出版された。【小学校低学年から】(眞子)